

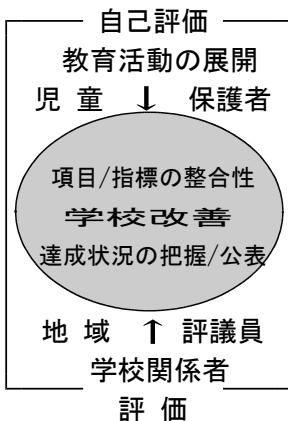
より確かな学校改善につながる

学校評価システムの構築

札幌市立前田中央小学校

I はじめに

学校改善と学校評価
システムのつながり



1 本校における学校評価のねらい

平成18年度の学校評価では、児童の実態把握と分析、保護者の教育活動への期待や参画意識の把握、学校関係者による評価を導入し、教育活動の質の向上を目指した学校評価システムの構築に取り組んだ。

今年度は、より確かな学校改善につながる学校評価システムの構築を目指し、学校改善の周知と取組状況の公表、教育活動と評価項目及び指標との整合性、各アンケート調査の項目検討と活用を視野に取組を進めることとした。

2 昨年度の学校評価を基にした改善点

(1) 改善策と取組状況の公表

改善を必要とする内容については、具体的な方策や見通しを教育説明会、学校ホームページなどで公表した。また、児童の実態調査の結果や取組状況を学校だよりや懇談などを通じて、保護者に知らせるようにした。

(2) 評価項目及び指標の整合性

評価項目の設定にあたっては学校像との関連のほかに、改善を加えた教育活動や重点的に取り扱う内容を付加した。また、評価指標についても、具体的な取組状況を記載して教育活動との整合性を図り、その達成状況を把握していくようにした。

(3) 児童の学習や生活に関する実態調査・保護者アンケートの改善

児童実態調査については改善の取組に該当する質問内容を抽出し、その結果を前年度のデータと比較するようにした。また、保護者アンケートの設問項目は改善を加えた教育活動との関連を図るとともに、前年度との経年比較を通して保護者の期待や参画意識の動向を把握するようにした。

II 学校評価システム

自己評価と学校関係者
評価の役割

1 自己評価委員会の役割

自己評価委員会は児童の実態や保護者の期待や改善意見を踏まえ、教育活動の質の向上につながる自己評価を行う。

- ・学校像や教育活動との関連を図った評価項目及び指標の検討
- ・児童の実態調査及び保護者アンケート調査の実施と分析
- ・自己評価書の作成と公表

2 学校関係者評価委員会の役割

学校関係者評価委員会は自己評価の実施状況を適切に評価するとともに、教育活動の改善策について総括する。

- ・行事公開などによる取組状況の把握
- ・自己評価の実施状況への意見
- ・学校関係者評価書の作成と公表

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

教育計画の策定、評価項目・指標の検討、学校関係者評価委員会の開催などを含む学校評価の年間計画を立案し、見通しを明らかにした。特に、改善の取組状況に関連した児童の実態調査、保護者アンケートを実施し、その結果が目標達成状況の把握につながることに留意して計画した。

| | 自 己 評 価 | | | 学校関係者評価 |
|------|---|----------------------|------------------------|---|
| | 学 校（教職員） | 児 童 | 保護者・地域 | 学校関係者評価委員会 |
| 4月 | <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・学校像の設定及び具体化 ・各部重点及び年間計画立案 ・学年プログラムの立案 | ・学力検査 ・全国学力学習状況調査 | ・参観懇談 | |
| 5月 | ・学力検査結果分析 ・運動会における育ちの評価 | ・学習/生活傾向の把握 | ・教育説明会（学年懇談） ・行事参観 | |
| 6月 | <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・評価指標、評価項目の検討 ・学校評価年間計画の提示 | | ・家庭訪問 ・スクールゾーン実行委員会 | <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・学校運営の重点 ・教育活動の参観 ・学校評価計画の把握 |
| 7月 | <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・評価指標、評価項目の設定 | ・長期休業指導 | ・参観懇談 | ・評価項目、指標の検討 |
| 8・9月 | ・しらかば祭りにおける育ちの評価 <input type="checkbox"/> 自己評価委員会（中間評価） ・前期の育ちと課題の整理 | ・通知表（育ちと課題の共有） | ・参観懇談 | |
| 10月 | ・学習発表会における育ちの評価 | ・学習/生活実態調査 | ・行事参観 | <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・教育活動の参観 ・中間評価の把握 |
| 11月 | ・全国学力学習状況調査の分析 <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・年度末学校評価計画 | | ・土曜参観 ・アンケート | |
| 12月 | ・教職員による個人評価 ・各部各委員会の重点に関する評価 | ・長期休業指導 | ・個人懇談 ・スクールゾーン実行委員会 | |
| 1月 | <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・学校評価資料作成（教職員評価・児童実態調査・保護者アンケートの分析） | | ・子育てネットワーク | |
| 2月 | <input type="checkbox"/> 学校評価全体会 ・具体的な改善策の検討 | | ・参観懇談 | |
| 3月 | <input type="checkbox"/> 自己評価委員会 ・自己評価書の作成 <input type="checkbox"/> 学校ホームページによる公表（自己評価書・学校関係者評価書） | ・通知表（育ちと課題の共有） | ・教育懇談会 | <input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・学校関係者評価書作成 |

IV 学校評価の方法

教育活動と評価項目
・指標の整合性

1 自己評価

(1) 項目・指標の設定

評価項目・指標の設定にあたっては学校像との関連を図るとともに、具体的な取組内容を加え、改善に向けた教育活動との整合性を図った。また、評価者についても評価項目の内容に合わせて設定した。

□学校像1 「子どもが生き生きと学ぶ学校」に関する評価

評価項目 ・子ども像の実現、基礎基本の定着と指導、尊重する態度の育成、朝の読書の定着と関心、地域とのつながりやねらいに向かう学習、子ども理解と支援体制

評価者 ・児童、保護者、教職員

□学校像2 「保護者や地域の方が親しみをもつ学校」に関する評価

評価項目 ・家庭、地域の連携と共有、学校における安全教育と体制

評価者 ・保護者、教職員

□学校像3 「教職員が情熱を傾けられる学校」に関する評価

評価項目 ・授業改善、学校の組織力

評価者 ・教職員

児童・保護者アンケートの項目設定

(2) 児童の学習や生活に関する実態調査・保護者アンケートの実施

児童の学習や生活に関する実態調査は、育てたい子ども像と学校改善の取組に該当する質問項目を抽出し、4・5・6年児童を対象に記名選択式で実施した。なお、個人データは教育相談などの資料として活用した。

保護者アンケートは全家庭を対象に、学校像1～2に関連する児童の育ちや教育活動の取組状況について選択・一部記述式で実施した。

| 児童の実態調査の主な質問項目 | 保護者アンケートの主な質問項目 |
|--|--|
| <p>□学習・生活に関する10項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主自立、人とのかかわり ・ 学習意欲、学び方、学び合い <p>□自分のことに関する12項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取組や考え方 <p style="text-align: center;">▽</p> <p><u>学校改善の達成状況の資料</u></p> | <p>□学校像1に関する16項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ力の育成 ・ 豊かな心の育成 <p>□学校像2に関する10項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭、地域との連携 ・ 安全意識、安全体制 <p style="text-align: center;">▽</p> <p><u>改善状況の把握と参画意識</u></p> |

児童・保護者アンケートの活用と自己評価

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

児童の実態調査の結果については項目ごとに統計・処理を行い、前年度との経年比較や考察を加え、児童の育ちや課題を把握した。また、調査結果は、学校改善の達成状況を把握する基礎資料として活用した。

保護者アンケートの結果についても、項目ごとに統計処理や経年比較を行い、教育活動への期待や改善状況を把握するようにした。なお、記載された改善意見については自己評価書に意見集約として記載し、学校評価全体会で検討を加えた。

自己評価書については学校像1～3に関する評価項目ごとに作成した。各評価項目には、児童の実態調査及び保護者アンケートの結果と考察、教職員による評価を記載し、目標達成状況を明らかにしていった。さらに、改善を要する事項については、具体的な改善方法や内容を記載していくようにした。

短期的～中長期的な
視野に立つ

(4) 改善策の検討

保護者及び教職員の改善に関する意見を整理し、学校評価全体会で検討を加えた。その際、短期的及び中長期的な視野に立って、学校改善の具体的な方策を明らかにしていくようにした。

客観的な立場からの
学校関係者評価書

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成

学校評議員に委嘱し、学校関係者評価委員会を開催した。

(2) 学校関係者評価書の作成

学校関係者評価委員は学校訪問や自己評価書を基に、学校像1～3に関する教育活動の実施状況及び自己評価の取組や改善策について客観的に評価し、意見を述べる。学校関係者評価書には、学校評価委員の自己評価に対する評価と改善策への意見を記載するようにした。

V 評価結果の公表

1 公表の方法

本校においては、評価結果の公表を以下の方法で行った。

- ・学校ホームページ
- ・教育懇談会による説明
- ・学校だよりによる配布

2 公表の効果

公表により学校評価の客観性が高まるとともに、保護者・地域の連携と共有が図られ、教育活動の質の向上につながる効果を期待している。そのために、取組状況及び児童の育ちや課題を学校だよりや懇談などを通じて計画的に周知し、学校改善の達成状況や継続性についての理解と協力を図るようにした。

VI 他地域における学校評価

1 福岡市立若宮小学校の学校評価

信頼される学校づくりを目指し、学校関係者評価を1部（PTA役員・地域）2部（校長経験者・大学教授）の2段階に分けて実施し、評価の客観性を高める取組をしている。現在、改善につながる評価内容、分かりやすい設問、きめ細やかな情報提供・公表などを中心に学校改善の具体化を図っている。

2 大阪市立四貫島小学校の学校評価

教職員、児童、保護者、地域を対象とした学校教育診断調査を実施し、学校課題の把握や学校改善の内容を明らかにしている。一方、予算や人的配置の条件が限定されているため、保護者や地域の方々と学校課題を共有し、運営に参画していく学校づくりが今後の課題として残されている。

VII 成果と課題

□学校改善に向けた取組との整合性を図った評価項目・指標の設定は、学校評価システムの信頼性を高め、保護者・地域の学校運営への参画意識の向上につながった。

□各アンケート調査結果の経年比較は学校改善の進捗状況を明らかにし、より確かな学校改善を目指す学校評価システムの具体化につながった。

■今後は教育環境といった内容を評価項目に取り入れ、学校の施設・設備の充実を図る自己評価と学校関係者評価の在り方を検討していく。

【参考文献】

- ・「学校評価システム 実践集録～これからの学校評価～」 札幌市教育委員会
- ・「教育改革と学校・教育委員会」 佐藤 進 教育出版